



第27回 日本医学会総会 2007
 夢-10 新しい医師・患者関係をめざして

患者・医師間の情報共有について ～対等と共感の関係～



熊本大学 発生医学研究センター
 熊本大学 生命倫理研究会
 くわみず病院 内科(睡眠障害)



桑 和彦

KKume 2007.4.8.

最初に結論から

[http:// k-net.org](http://k-net.org)

KKume 2007.4.8.

2007年 4月 8日 3版 20時 40分

患者と医師の関係

価値観の共有が重要

多様な選択肢の提示から

KKume 2007.4.8.

1. 古い関係



KKume 2007.4.8.

2. 現在の関係



KKume 2007.4.8.

3. 今後、目指したい関係



R. M. Veatch : Deep Value Pairing model

KKume 2007.4.8.

自己紹介を兼ねて・・・

医学研究と医療は、両立できるか？

KKume 2007. 4. 8.

「医学」と「医療」は異なる

(増子忠道先生、1981年)

医学: 科学、Science、
真・善・美の「真」を探求
動機、人柄は不問=>興味本位で良い

医療: 応用、Technology, Art
真・善・美の「善」を追求
人と人との関係においてのみ存在
「倫理が必須」 例:平和か正義か？
=>信頼、人間の尊重

KKume 2007. 4. 8.

養老孟司先生の言葉



私は医学部を卒業した後、
インターンで1年間だけ医者
をしましたが、その間に3回
も医療事故に遭遇しました。
それで医者になるのが怖く
なって、解剖学者になりました。
同級生が、どうして医者
になれるのかが不思議でした。

KKume 2007. 4. 8.

大熊由紀子さん: www.yuki-enishi.com

ゆき. えにしネット
西村と医師、患者のつながりをつなぐホームページ 131255

えんしのページへようこそ! (e"o) (e"o) (e"o)

「えんし」の名の由来は、2001年5月、プレスセンターで開いていた、
ただ、「新たな医療(えんし)を結ぶ会」に遊びます。

一人のジャーナリストと縁があるという、
ただ、それだけの縁で集ってくださった分野の違う方々の間に、
不思議な、新たな縁が結び、広がっていききました。

このホームページが、福祉と医療とまちづくり、
そして、現場と政策の新たな縁結びにつながることを願って、
少しずつ内容を充実してまいります。
時々覗きにきてください! (e"o) ->会

ご意見、お便りをお待ちしています。
dzy00523@nifty.comどうぞ!

大熊由紀子 (雑誌編集員兼作家・臨床ソーシャルワーカー
→ 京都府立医科大学大学院・京都大学社会福祉学専攻・京都府立医科大学)

KKume 2007. 4. 8.

勝村久司さん

ぼくの「星の王子さま」へ

医療裁判 10年の記録
勝村久司



KKume 2007. 4. 8.

医療の質向上と患者の安全をめざすフォーラム誌
Journal of Patient-Oriented Medicine (JPOM)
患者のための医療 5月号
第2特集
救急医療
このままではいられないのか、

第1特集
医療事故防止は
どこまで進んだか

医療の質向上と患者の安全をめざすフォーラム誌
Journal of Patient-Oriented Medicine (JPOM)
患者のための医療 2月号
第1特集
患者・被害者が
立ち上がる

第2特集
研修医と
研修システムの
問題点

KKume 2007. 4. 8.

医師・患者関係を考えるキーワード

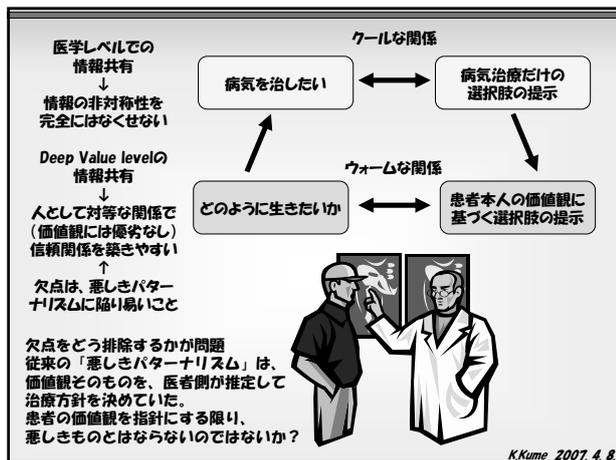
1. 情報の非対称性
2. 医療の不確実性
3. 権力構造：医師の持つ特権
=> 実存的なもの

KKume 2007. 4. 8.

医師・患者関係がうまくいかないのは…

1. 個人レベルの問題
2. 医学知識の量における上下関係
3. 治療をする特権に基づく実存的な権力関係
4. 人としての対等性に患者が満足できない

KKume 2007. 4. 8.



ごく簡単な実践から…

- ・眠れない => 眠らせる薬を出す
=> 眠れなくて何が困るのですか？
- ・風邪を引いた時に => 治せない、対症療法
=> 休むという選択肢は？
- ・高血圧 => どのように生活を過ごしたいか？

KKume 2007. 4. 8.

最後に…

何か悪い結果が起きたときに、謝罪・真摯な説明が、紛争も予防する。

東大:SMAN project
www.stop-medical-accident.net

特別セミナー

「医療事故・過誤が起きたら」
「真実説明・謝罪マニュアル」
で対処しよう



東京大学
医療改善人材養成講座
特任助教授
坪岡健一

■講師におき けんいち

KKume 2007. 4. 8.